

我が九条

京都市立九条中学校

発行日：令和2年12月1日

発行者：校長 三科 俊一

学校だより 12月号

人権学習にあたって

20世紀、人類は二度にわたる世界大戦を経験し、「平和のないところに人権は存在し得ない」、「人権のないところに平和は存在し得ない」という大きな教訓を得ました。そして、1948（昭和23）年12月10日、国際連合は、「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である」とする今日の基本的人権の考え方の基礎となる世界人権宣言を採択したのです。人権の尊重が平和の基礎であるということが世界の共通認識になっています。このような意味で、21世紀は「人権の世紀」と呼ばれているのです。しかし、今なお世界のどこかで紛争は絶えません。戦争は最大の人権侵害です。



人権とは、誰もが生まれながらに持っている、人間が人間らしく生きていくための権利であり、人類が歴史の中で築いてきた財産なのです。わが国においても日本国憲法で人種・信条・性別・社会的身分・門地などによって差別されないとする法の下での平等、思想及び良心の自由、信教の自由、学問の自由、生存権、教育を受ける権利、勤労の権利など、多くの種類の人権を基本的人権として保障しています。

しかしながら、現実の社会において、男女平等、障がいのある人、同和問題、外国人・外国籍市民等、HIV感染者等々にかかわる課題をはじめ、いじめ、虐待、DV、LGBT等の性的少数者に対しての問題や最近ではインターネットを利用し個人情報や差別的情報を掲載、流布するといった問題など、人権が侵害される事象は今なお存在しています。さらには新型コロナウイルスに関連した差別問題など、解決しなければならない課題が山積しています。

21世紀を「真の人権の世紀」とするために、私たち一人ひとりが人権について学び、意識を高め、互いの人権が尊重される社会をみんなで築いていこうと思う「心」が大切なのではないでしょうか。そのために、今一度「人権の大切さ」について考えてみましょう。

多様な価値観を認め、互いに尊重しあい、共に助け合う態度を育てることを九条中学校でも大切にしています。豊かな人間性を基盤に磨かれた人権感覚と人権にかかわる学習で得た知識や技能が一体化し、人権尊重の意義を理解して偏見を排除し、差別の不合理性を認識できる判断力を身に付け、自分自身で対応しようとする意志を持てる人になってほしいと考えます。

自分の長所・短所（強み・弱み）

激動の世の中を迎えつつある今、「社会をたくましく生き抜いていく力」の根幹となるのが、主体的に学ぶ力だと思います。

具体的に言えば、「自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。」、「自分の長所・短所（強み・



弱み)を把握し、困難なことでも自信をもって取り組むことができる。」、「自分なりに判断し、他者に流されず行動できる。」などがあげられると思います。そこで今回は、なぜ、「自分の長所・短所(強み・弱み)を把握すること」が、「困難なことでも自信をもって取り組むことができる。」ことにつながり、「社会をたくましく生き抜いていく力」になっていくかについて考えてみましょう。

まず、ある人の長所は、ある人の短所であり、ある人の短所は、ある人の長所でもあると思います。両者は実は、表裏一体である事が少なくはありません。

そして、人が成長するには、自分の長所・短所を理解することが大切だといわれています。人には、それぞれの異なる能力・適性・性格を持っています。長所・短所を理解する事は、みんな一人ひとり、異なるということを認識することでもあり、お互いの良い部分を、尊重しあえる関係性が、とても大切だということです。お互いに、周りの人の長所・短所を素直な心で、よく理解しておくことが重要で、その長所を出来る限り発揮させてあげるように、またその短所を出来る限り補ってあげるように、他人と関わることが、自身の成長にも大事なことでないでしょうか。

ただ、長所・短所を分析・整理するにあたって「他人と比較してしまう」ことは必要ありません。重要なのは、あなたの長所をどのように活かすのか。もっと向上させるには何ができるのか。その事を考えて進めていくことです。

短所としっかり向き合い、短所そのものを把握するというのは、なかなか難しいことだと思います。しかし、自分の中の短所を理解する事で、トラブルがあっても、相手のせいばかりにしてしまわずに、何が原因だったのかをしっかりと考える事もできるようになるのではないのでしょうか。また、改善策をみつけるために役立つと思います。自分の短所を理解する事を、自分自身が成長するための必要課題を見つけたと捉えられたならば、より前向きに歩むことができると思います。このようなプラス思考ってすばらしいですね。

自分が自分らしく生きていくために、そして精一杯何事にも努力していけるために、「自分を知る」ことの目安に、「長所・短所を理解する」ことは大切なことだと思います。至らない点は素直に認め、お互いに補い合い、感謝し合えることが健康な社会にもつながっていくのだと思います。自分自身をしっかりとった上で、お互いに寄り添い、助け合い、そして自分の力を発揮していきたいものだと思います。



12月の主な行事

- 人権学習…12月1日(火)7限, 3日(木)7限
- 1・3年情報モラル教室…12月7日(月)7限
- 南区一斉清掃…12月13日(日)
- 12月三者懇談…12月15日(火)～18日(金)
- 終業式…12月23日(水)4限
- 生徒会交流会…12月23日(水)15時～凌風小中学校にて
- 冬季休業…12月24日(木)～1月4日(月)

